

患者様およびその保護者の方へ

当科では卵白アレルギーの経過や検査結果について調査を行っております。患者様のデータを用いて行いますが、患者個人のお名前や個人を特定できる情報が公表されることは一切ありません。皆さまのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

研究課題名	鶏卵アレルギー患者への加熱全卵粉末を使用した食事指導の効果に関する検討
研究責任者	国保中央病院小児科 中農昌子
研究目的	<p>食物アレルギー診療において“閾値より少し低い摂取量”を継続して摂取し、食べられる量を徐々に上げることを目指す“経口免疫療法”という治療が行われていますが、体調などにより時に症状を誘発することがありリスクについては常に注意する必要があります。一方、経口免疫療法よりさらに低用量、つまり閾値より大幅に低い“摂取可能量”摂取を続け時間をかけて食べられる量の増加をめざす“食事指導”の効果が近年注目されています。</p> <p>しかしいずれの方法においても、鶏卵アレルギー患者さんの卵白摂取は通常「ゆで卵白」を使用しており、週2、3回以上ゆで卵白を摂取し続けることは保護者の負担が大きく（毎回ゆで卵を作り 0.1 g 単位で計測が必要）、患児も飽きてきて摂取しなくなることがあります。経口免疫療法から食事療法への変更で治療期間が長期化するとさらに継続が困難になります。ゆで卵白摂取困難な患者さんには「全卵使用のホットケーキ」を使用することもあります。こちらも保護者作成という負担を伴います。</p> <p>2019年から鶏卵アレルギー治療を目的に開発された「加熱全卵粉末（たまこな®）」を使用し、保護者負担と患児の摂取拒否感減少による治療効果について検討します。</p>
研究概要、対象となる患者さま	卵黄摂取可能で卵白食事指導を行う鶏卵アレルギー患者さんの中で、2020.5-2022.4の期間に、卵白経口負荷試験を行う方が対象です。負荷試験1年後卵白摂取量を比較します。
本研究の適正性について	患者さんのデータは匿名化され、その情報も厳重に保管されますので、個人情報公表されることは一切ありません。また得られたデータを本研究の目的以外に使用することはありません。なお、本研究は国保中央病院の倫理審査委員会で承認を受け行っており、調査期間は2023年4月30日まで、解析期間は2023年5月31日までです。情報は研究終了後5年間保存し、その後破棄します。研究の資金源等に関する利益相反はありません。また、解析結果は小児科、アレルギーに関する学会で発表させていただきますが、患者様の個人情報公表されることは一切ありませんのでご安心ください。本研究の詳細な資料を閲覧されたい方は下記までお問合せください。
研究への参加辞退をご希望の場合	<p>この研究に関して新たに患者様にいただくことや負担は特にありません。本研究への参加を辞退される場合は、いつでもご遠慮なく研究責任者までご連絡ください。参加を辞退されても患者様が診療の上で不利な扱いを受けることはありません。</p> <p>本研究について直接おたずねになりたい場合は、下記までお問合せください。</p> <p style="text-align: right;">2022年 1月</p> <p>お問合せ先 ; 国保中央病院 小児科 中農昌子 電話番号 ; 0744-32-8800</p>